

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	社会保障とリハビリテーション		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	401教室
担 当 教 員	中野 千秋(1~12) 藤本 光輝(13~23)	実務経験と その関連資格	国立保健医療科学院選考課程 病院管理専攻科修了 保健医療分野の個人情報保護管理者全課程修了 医師職臨床研修「医療保健・福祉制度」必修講座担当			
<b>《授業科目における学習内容》</b> 社会保障の概念ならびに、その制度を理解することにより、医療機関及び医療専門職者の係りかたを学んでいくことを目標とする。医療サービスを提供する医療専門職者、医療提供者として、包括的に社会保障制度の面から考えることができる効果が期待できる。リハビリテーションの概念や主要分野について理解できる。ICF(国際生活機能分類)を理解し、生活機能を包括的に捉えられる。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 学期末試験、授業内小テスト/提出課題 ※国家試験形式問題を含む 学期末試験で100%評価する。						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 市販のテキストは使用せず、要点をまとめたプリントを配付する。参考図書については、授業中に適宜紹介する。 (参考図書)大川弥生「生活機能とは何か ICF:国際生活機能分類の理解と活用」東京大学出版会						
<b>《授業外における学習方法》</b> 本授業は言語聴覚士国家試験出題基準に基づき構成している。各回の配布資料を復習し、関連する国家試験過去問題に必ず取り組むこと。特に医療保険制度、介護保険制度、障害者総合支援法については制度の仕組みだけでなく、給付内容や対象者要件まで整理して理解すること。制度改正が頻繁に行われる分野であるため、最新情報を確認する習慣を身につけること。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 社会保障制度は暗記科目ではなく、制度の目的と構造を理解することが重要である。各制度が「誰を対象に」「どのような給付を」「どの財源で」行っているのかを常に意識して学習すること。また、将来言語聴覚士として臨床に従事することを想定し、制度と実務との関連を意識しながら受講すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 授業を通じての到達目標	社会保障制度の目的と基本理念を説明できる。		事前配付プリント	事前に配付するプリントに目を通しておき、どのような事柄を習得するするのかイメージして講義に臨む。	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障の概念</li> <li>・日本の社会保障制度の歴史的背景</li> <li>・社会保険方式と公費負担方式</li> <li>・社会保障制度の4本柱</li> </ul>				
第2回	講義 授業を通じての到達目標	医療保険制度の体系を説明できる。		事前配付プリント	前回授業内容に係る確認問題を課すことがあるので、復習をしておくこと。 事前に配付するプリントに目を通した上で、イメージして授業に臨む。	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療保険制度の構造</li> <li>・被用者保険と国民健康保険</li> <li>・保険給付の種類</li> <li>・保険者と被保険者</li> </ul>				
第3回	講義 授業を通じての到達目標	診療報酬制度の基本的仕組みを理解する。		事前配付プリント	前回授業内容に係る確認問題を課すことがあるので、復習をしておくこと。 事前に配付するプリントに目を通した上で、イメージして授業に臨む。	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療報酬制度の概要</li> <li>・点数表の構造</li> <li>・リハビリテーション料の位置づけ</li> <li>・出来高払いと包括払い</li> </ul>				
第4回	講義 授業を通じての到達目標	高齢者医療制度の仕組みを説明できる。		事前配付プリント	前回授業内容に係る確認問題を課すことがあるので、復習をしておくこと。 事前に配付するプリントに目を通した上で、イメージして授業に臨む。	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者医療制度</li> <li>・自己負担割合</li> <li>・高額療養費制度</li> </ul>				
第5回	講義 授業を通じての到達目標	公費負担医療制度の概要を理解する。		事前配付プリント	前回授業内容に係る確認問題を課すことがあるので、復習をしておくこと。 事前に配付するプリントに目を通した上で、イメージして授業に臨む。	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援医療</li> <li>・難病医療費助成</li> <li>・精神保健福祉法関連制度</li> </ul>				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	生活保護制度の仕組みを説明できる。	事前配付プリント	前回授業内容に係る確認問題を課すことがあるので、復習をしておくこと。 事前に配付するプリントに目を通した上で、イメージして授業に臨む。
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活保護法の目的</li> <li>扶助の種類</li> <li>医療扶助</li> <li>保護の原則</li> </ul>			
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	介護保険制度の基本構造を説明できる。	事前配付プリント	前回授業内容に係る確認問題を課すことがあるので、復習をしておくこと。 事前に配付するプリントに目を通した上で、イメージして授業に臨む。
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険制度創設の背景</li> <li>保険者と被保険者</li> <li>要介護認定</li> <li>財源構成</li> </ul>			
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	介護保険サービスの内容とSTの関与を理解する。	事前配付プリント	前回授業内容に係る確認問題を課すことがあるので、復習をしておくこと。 事前に配付するプリントに目を通した上で、イメージして授業に臨む。
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>居宅サービス</li> <li>施設サービス</li> <li>訪問リハビリテーション</li> <li>医療と介護の連携</li> </ul>			
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	地域包括ケアシステムを説明できる。	事前配付プリント	前回授業内容に係る確認問題を課すことがあるので、復習をしておくこと。 事前に配付するプリントに目を通した上で、イメージして授業に臨む。
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センター</li> <li>多職種連携</li> <li>在宅医療</li> <li>リハビリ専門職の役割</li> </ul>			
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援法の概要を説明できる。	事前配付プリント	前回授業内容に係る確認問題を課すことがあるので、復習をしておくこと。 事前に配付するプリントに目を通した上で、イメージして授業に臨む。
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者総合支援法の目的</li> <li>障害福祉サービス</li> <li>補装具・日常生活用具</li> <li>自立支援医療との関係</li> </ul>			
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	医療従事者の法的責任と医療安全の基本を理解する。	事前配付プリント	前回授業内容に係る確認問題を課すことがあるので、復習をしておくこと。 事前に配付するプリントに目を通した上で、イメージして授業に臨む。
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療事故調査制度</li> <li>インフォームドコンセント</li> <li>守秘義務</li> <li>個人情報保護法</li> </ul>			
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	社会保障制度全体を体系的に整理し、国家試験問題に対応できる。	事前配付プリント	前回授業内容に係る確認問題を課すことがあるので、復習をしておくこと。 事前に配付するプリントに目を通した上で、イメージして授業に臨む。
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度横断整理</li> <li>国家試験過去問題演習</li> <li>重要論点の確認</li> <li>総括</li> </ul>			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの概念・目標について説明できる	配布資料 PCスライド	事前学習として該当頁の通読
	各コマにおける授業予定	リハビリテーションの概念・目標について学ぶ			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際障害分類(ICIDH)について説明できる	配布資料 PCスライド テキスト	事前学習として該当頁の通読
	各コマにおける授業予定	国際障害分類(ICIDH)について学ぶ			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)における「生活機能」について説明できる	配布資料 PCスライド テキスト	事前学習として該当頁の通読
	各コマにおける授業予定	国際生活機能分類(ICF)における「生活機能」について学ぶ			

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	社会保障とリハビリテーション		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	401教室
担 当 教 員	中野 千秋(1～12) 藤本 光輝(13～23)	実務経験と その関連資格	国立保健医療科学院選考課程 病院管理専攻科修了 保健医療分野の個人情報保護管理者全課程修了 医師職臨床研修「医療保健・福祉制度」必修講座担当			
<b>《授業科目における学習内容》</b> 社会保障の概念ならびに、その制度を理解することにより、医療機関及び医療専門職者の係りかたを学んでいくことを目標とする。医療サービスを提供する医療専門職者、医療提供者として、包括的に社会保障制度の面から考えることができる効果が期待できる。リハビリテーションの概念や主要分野について理解できる。ICF(国際生活機能分類)を理解し、生活機能を包括的に捉えられる。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 学期末試験、授業内小テスト/提出課題 ※国家試験形式問題を含む 学期末試験で100%評価する。						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 市販のテキストは使用せず、要点をまとめたプリントを配付する。参考図書については、授業中に適宜紹介する。 (参考図書)大川弥生「生活機能とは何か ICF:国際生活機能分類の理解と活用」東京大学出版会						
<b>《授業外における学習方法》</b> 本授業は言語聴覚士国家試験出題基準に基づき構成している。各回の配布資料を復習し、関連する国家試験過去問題に必ず取り組むこと。特に医療保険制度、介護保険制度、障害者総合支援法については制度の仕組みだけでなく、給付内容や対象者要件まで整理して理解すること。制度改正が頻繁に行われる分野であるため、最新情報を確認する習慣を身につけること。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 社会保障制度は暗記科目ではなく、制度の目的と構造を理解することが重要である。各制度が「誰を対象に」「どのような給付を」「どの財源で」行っているのかを常に意識して学習すること。また、将来言語聴覚士として臨床に従事することを想定し、制度と実務との関連を意識しながら受講すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)における「生活機能」に関する因子について説明できる	配布資料 PCスライド テキスト	事前学習として該当頁の通読	
		各コマにおける授業予定	国際生活機能分類(ICF)における「生活機能」に関する因子について学ぶ			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)における「生活機能」と廃用症候群の関係について説明できる	配布資料 PCスライド	なし	
		各コマにおける授業予定	ADL上、問題となる廃用症候群と「生活機能」の関係について学ぶ			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)における「生活機能」と嚥下障害の関係について説明できる	配布資料 PCスライド	なし	
		各コマにおける授業予定	ADL上、問題となる嚥下障害と「生活機能」の関係について学ぶ			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	教育リハビリテーションについて説明できる	配布資料 PCスライド	なし	
		各コマにおける授業予定	教育リハビリテーションについて学ぶ			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	職業リハビリテーションについて説明できる	配布資料 PCスライド	なし	
		各コマにおける授業予定	職業リハビリテーションについて学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会・地域リハビリテーションについて説明できる	配布資料 PCスライド	なし
		各コマにおける授業予定	社会・地域リハビリテーションについて学ぶ		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会・地域リハビリテーションについて説明できる	配布資料 PCスライド	なし
		各コマにおける授業予定	社会・地域リハビリテーションについて学ぶ		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションにまつわる多職種連携について説明できる	配布資料 PCスライド	なし
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションにまつわる多職種連携についてグループで学ぶ		
第24回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第26回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第27回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第28回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第29回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第30回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			